

# 町内で特定外来生物 アルゼンチンアリの生息 が確認されました

## ■問い合わせ

生活衛生課 生活衛生班 ☎ 0820 (79) 1012

アルゼンチンアリは、1993年広島県廿日市市において日本で初めて生息が確認され、山口県内においては岩国市、柳井市、宇部市、光市での生息が確認されています。周防大島町においても、6月に安下庄地区で初めて生息が確認され、周辺地域において、町が一斉防除を行っています。

## アルゼンチンアリの概要

南米原産であるアルゼンチンアリは、元々は日本に存在しない海外起源の「外来生物」です。アルゼンチンアリは、生態系に被害を及ぼす外来生物として、外来生物法の施行と同時に「特定外来生物」に指定されています。

## アルゼンチンアリの特徴

働きアリは体長が2.5mmと比較的小さく、在来アリに比べるとスマートで細長く、長い触覚や足をもっていますが、体色は、遠目に見ると黒色に見えますが、近くで見ると茶褐色です。



▲アルゼンチンアリの特徴（働きアリ）

## アルゼンチンアリによる被害

### (1) 生態系への影響

アルゼンチンアリは、競争力・繁殖力が非常に高く、侵入した地域にいる在来ア리를攻撃し、駆逐することがあるため、在来アリ等に依存していた植物・動物など、バランスの上に成り立っていたその地域の生態系に悪影響を及ぼすことが懸念されます。

### (2) 不快感を与える等の影響

アルゼンチンアリ自体に毒性はありませんが、普通のアリと同様に人の体を噛んだり、大量に発生して気持ちが悪かったりという点から、不害虫とも言われています。アルゼンチンアリは狭い間でも通り抜ける習性があり、戸の隙間などから屋内に侵入してきます。屋内に侵入することにより不快感を受けたり、また大量に発生することにより、日常生活に不便をきたすことがあります。

## アルゼンチンアリの防除方法

### (1) 殺虫剤による駆除

アルゼンチンアリは繁殖力が強いので、完全に駆除することは困難ですが、市販のベイト型（餌型）殺虫剤、スプレー式殺虫剤、粉末殺虫剤などの各種駆除剤を効果的に組み合わせることで、屋内への侵入を防止できます。

### (2) 生息しにくい環境づくり

アルゼンチンアリは、物の隙間や人手が加わった場所を好んで巣を作るため、そのような場所を作らないようにすることが個体数を減らすことに繋がります。具体的には、植木鉢・プランターなどは地面に直接置かず台や棚の上に置くこと、枯れ葉などは早めに片づけること、コンクリートブロックなど巣の原因になりそうな物を地面に置かないこと、巣穴となるような亀裂・隙間を埋めるなど、普段の日常生活の中から心がけていきましょう。

### (3) 新たな生息域の未然防止

アルゼンチンアリは、巣分かれすることにより生息範囲が広がっていきまします。既に生息が確認された地域から、新たな生息域を拡大させないための未然防止が大切です。そのためにも、巣を含む可能性のある植木鉢やプランター等を移動させる場合は、必ずアリの有無を確認しましょう。

## アルゼンチンアリを見つけたら

アルゼンチンアリらしきアリがいて判断に迷う場合や防除方法などの相談は、生活衛生課生活衛生班までご連絡ください。